

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		LEGON Kids 長柄				公表日		2026年 3月 2日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		近くにある共同施設のキッズパーク（機能訓練室）も使い療育に努めています。	整理したり棚を設置したりしているが事業所内のスペースが狭いように感じる			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			職員数が足りないと感じることがある			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			事業所内のスペースがせまく、空間を区切ることもむずかしい為、工夫はしているがここは何をする場所というのが伝わりづらい			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		日々の掃除をしているので今後も続けていく。 ジョイントマットを新しく交換した				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		休憩室を利用しています。 騒がしい環境が苦手な児童がいる場合は機能訓練室に何人か移動して環境調整を行っています。	認められているがせまいので使いづらい。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		事業者主催による研修の機会を確保し 区の研修にも参加しています。				
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>						
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>						
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>						
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>						

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日々朝礼を行い共通のツールを使い情報を共有し、おひとりおひとりに合わせて支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		日々終礼を行い共通のツールを使い情報を共有し、おひとりおひとりに合わせて支援を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		職員が行なった支援を記録し、保護者様と共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			北区に児童発達支援センターが無いため連携は取れていませんが会社としてスーパーバイズを受ける機会を作るなどの研修を実施しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			状況に応じて提案をおこなっていただけるよう改善に努めます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		今年度体制や実施時間が変わったこともありあまり参加ができませんでした。引き続き参加できるよう調整を行うよう努めます。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		1人1人のご利用児童様に合わせ個々にどのような対応があるかなど都度お話やお伝え、ご相談はしておりますが研修の機会などのサポートができていたとは言えず、よりよい環境を整えたいと思っております。	まずは職員側がどのようにベアトレを実施していくかを心理担当の職員を中心に研修をおこない実施に向け体制を整えております。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約の際にお伝えしております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		モニタリングのみでなく送迎時やLINEのやりとり、お電話など適宜相談等行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者様と一緒にプロレス観戦を行うなど保護者様がお会いする環境を作るなど実施しました。改めて交流のできる機会を設けるなどに向け会社とも相談し方法を考えていきたいと思っております。	実施に向け会社とも相談し方法を考えていきたいと思っております。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月広報紙を発行し、支援内容や行事予定を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			地域住民との関わりが少ないため、まずは地域の行事に参加するなど地域との繋がりを大切にしています。事業所の行事にも招待していけるよう改善に努めます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			避難訓練及び策定済みのマニュアルに関しても広報紙にて周知しておりますがより伝わりやすく周知できるように努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		会社としても策定し各事業所でも周知及び訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		リスト化し全職員が把握できるようにしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		リスト化し全職員が把握できるようにしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			家族様への周知がまだ足りていないと感じています。周知できるように努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		細かな事でも作成しており、事故に繋がらないよう共有し意識して業務に努めています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		会社全体で研修の機会を作っています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約の際に確認、了解を得ています。		